



# キラリ

輝いています!

柿田ゆかりさん (毛呂山町出身)

読んだ人にほのぼのとした  
気持ちになっしてほしい

■ 気が付いたらイラストレーター  
「子どものころから絵を描くことが好きで、専門学校にも通い、夢中になって絵を描いていました。そうしているうちに、気が付いたら今の仕事に就いていました」と話すのは、毛呂山町出身のイラストレーターであり、絵本作家である柿田ゆかりさん。

柿田さんの作品は、暖かみのあふれる色合いで描かれ、優しい気持ちにさせてくれる人物などが主役のものも多く、絵本の挿絵やカレンダーなど、様々な分野の絵を手掛けています。

## ■ いきあたりばったり

柿田さんがイラストレーターという職業を知ったのは、専門学校を卒業して数年がたってからの事だったという。それまでは出版業界などで

仕事をしていたそうです。

「ここかの地点を目標にするのではなく、先に何があるかわからないけど、足元と目の前をしつかり見て、常に興味を魅かれるほうや、行ってみたいと感じるほうへ進んできた結果、今の場所にたどり着いているという感じなんです。まさにいきあたりばったりという感じ…。これからもはったりいきあたったら、直感を頼りに進んでいくと思いますね」と柿田さんは話す。先の事よりも今を大切に生きてきた結果、現在の自分があるのだという。

## ■ 絵を描く幸せ

今も絵を描くことが楽しくてしょうがないという柿田さん。「以前海外に自分の作品を持っていったことがあったのですが、そのとき言葉で話さなくても、絵を見ただけで伝えたいことが伝わるということを知り、絵描きであることに幸せを感じました。そのような絵を描くことに



柿田ゆかりさん  
(光山小学校、川角中学校卒)  
イラストレーター・絵本作家

代表作 「おうさまのたんじょうびプレゼント」、「おうさまのピクニック」、「メイプルおばさんとりんごのき」、「なつやさいのなつやすみ」、「ふゆやさいのふゆやすみ」など多数



携われることが、今はとても幸せなんです」と笑顔で語る。

柿田さんの夢は、一生絵を描き続け、ひとりでも多くの人にほのぼのとした気持ちになってもらいたいことだという。柿田さんの絵は、これからもきつとたくさん人の心を癒してくれるだろう。

